

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

| | | | | | | | | | |
|----------------|--|---------------------------------------|-------------|-----------|-----------------|-------|-------------|-----|-----|
| 専門分野区分 | 情報処理基礎 | 科 目 名 | マネジメントと戦略 | | | 科目コード | T1062A1 | | |
| 配 当 期 | 前期・後期・通年 | | 授業実施形態 | 通常・集中 | | 単 位 数 | 2 単位 | | |
| 担当教員名 | 吉田 育弘 | | 履修グループ | 1H(IN/IS) | | 授業方法 | 講義 | | |
| 実務経験の内容 | <p>製造業（一部上場）の情報システム部門（16年間）にて、システムエンジニア、プロジェクトマネージャーを歴任後、CIO（情報統括役員）補佐として、経営をサポートする情報システム（例：経営管理システム、連結会計システム他）の企画、開発、運用を指揮。また、システム・業務の信頼性、安全性、効率性を向上させるべく、システム監査、内部統制監査を適時実施。独立後（13年間）、IT経営コンサルタントとして、各企業（製造業、サービス業他）に対し、経営とITの橋渡し、監査等の支援業務を実践。これらの実務経験に基づき、経営を支援する情報化戦略の基本的な知識、スキル、ノウハウを教示する。</p> | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | <p>企業で行う業務(タスク)で必要となる知識、技術を習得する。</p> <p>授業と自宅学習を通じて習得した基本的な知識を組み合わせる力、応用する力を養い、過去に出題されたFE 午後問題を授業内で解くことで午前・午後問題に関して解くことができるという自信を持つことが目標となる。</p> <p>情報システムの構築において、方針となる経営戦略や情報戦略の理解とプロジェクトの効果的な運営が重大な課題となっている。それに伴い、情報処理技術者試験の出題内容も顕著に変化している。</p> <p>本科目は企業活動における経営活動についての経営手法を理解し、現実の企業経営に対する理解、評価ができるようになることを目指す。当授業では、今後 IT 技術者を目指す人材の土台として、情報戦略とマネジメントの基礎知識を理解し習得することを目標とする。</p> | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | <p>ITパスポート・基本情報技術者資格の受験を意識し、知識の構築だけではなく、出題の傾向や解答ポイント、資格取得後の技術者としての展望など、テキストでは伝えきれない部分についても補填する。</p> <p>資格取得に対する意欲が向上できれば尚好ましい。</p> | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | <p>教科書:IT戦略とマネジメント(株式会社インフォテックサーブ)サブノート 参考書籍(問題集):基本情報技術者午前問題集(株式会社インフォテックサーブ) ニュースペックテキスト 基本情報技術者</p> | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 特に無し | | | | | | | | |
| 使用機器 | 特に無し | | | | | | | | |
| 使用ソフト | 特に無し | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部(DP(番号表記)) | 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | |
| | 1 | 「経営と管理」の基本用語と概念・考え方が理解できる。 | | | | | | | |
| | 2 | システム構築において、「経営と管理」の基本用語と概念・考え方を活用できる。 | | | | | | | |
| | 1 | マネジメントの概要・必要と基本的な用語が理解できる。 | | | | | | | |
| | 2 | システム構築において、経営戦略や情報戦略とマネジメントの知識を活用できる。 | | | | | | | |
| | 2 | 知識を組み合わせ、午後問題の題意を理解し、解くことができるようになる。 | | | | | | | |
| | 3 | 節度と常識のある態度で受講できる。 | | | | | | | |
| | 5 | 授業に関心や意欲をもって取り組むことができる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | クイズ 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 |
| | 総合評価割合 | 40 | 30 | | | | | 30 | 100 |

| | | | | | | | | | | |
|--------------|-----------------|---|----|--|--|--|--|----|----|--|
| 学部 D P | 1.知識・理解 | 20 | 15 | | | | | | 35 | |
| | 2.思考・判断 | 20 | 15 | | | | | | 35 | |
| | 3.態度 | | | | | | | 15 | 15 | |
| | 4.技能・表現 | | | | | | | | | |
| | 5.関心・意欲 | | | | | | | 15 | 15 | |
| 評価の要点 | 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |
| | 試験 | 第7週目授業（5月末～6月初）に中間テスト、学期末に前期定期試験を実施する。 試験は学習した範囲全般から出題し、基本情報技術者試験の過去問題、演習問題を利用して、資格取得に必要な基礎知識が理解できているかを確認する。 試験による評価は中間テストと前期定期試験の総合点で評価する。 FE 午後問題に関する過去問を出題する。 | | | | | | | | |
| | クイズ 小テスト | 章末など、区切りの所で情報処理試験の過去問等を出題し、理解度の確認と補填を図る。 FE 午後問題に関する過去問、また、FE 午後問題と同レベルの問題を出題する。 | | | | | | | | |
| | レポート | | | | | | | | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | | | | | | | | | |
| | 作品 | | | | | | | | | |
| | ポートフォリオ | | | | | | | | | |
| | その他 | 授業に取り組む意欲・態度などを総合的に評価し、出席状況全般も評価する。 | | | | | | | | |

授業明細表

| 回数 日付 | 学習内容 | 授業の 運営方法 | 学習課題 (予習・復習) |
|-----------|--|---------------|-----------------|
| 第1週 / | シラバスの説明 第1部 第1章 企業活動 第1部 第2章 企業会計 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第2週 / | 第1部 第3章 経営科学 ※3-1 応用数学は省略 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第3週 / | 第1部 第4章 法務と標準化 第1部 復習 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第4週 / | 第2部 経営戦略/第1章 経営戦略マネジメント | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第5週 / | 第2部 経営戦略/第2章 技術戦略マネジメント | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第6週 / | 第2部 経営戦略/第3章 ビジネスインダストリ | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第7週 / | 第2部 復習 中間テスト | 講義と質疑応答、中間テスト | |
| 第8週 / | 中間テスト結果の返却、振り返り 第3部 第1章 情報システム戦略の概要 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第9週 / | 第3部 第2章 情報システム企画 第4部 開発技術 システム開発プロセス・手法、テスト・運用技術の概要 ※後期「システム開発基礎」で詳細に学ぶので概要のみ | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第10週 / | 第3部、第4部の復習 第5部第1章プロジェクトマネジメントの概要 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第11週 / | 第5部 第2章 サブジェクトグループのマネジメント | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第12週 / | 第6部 第1章 サービスマネジメントの概要 第6部 第2章 サービスマネジメントの手法 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第13週 / | 第7部 システム監査と内部統制 第6部、第7部の復習 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第14週 / | 総復習 | 講義と質疑応答、問題演習 | |